

# La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro

センター通信 第298号 2020年10月15日発行

発行：名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro

461-0004 名古屋市東区葵一丁目26-10ユニブル新栄301号

公式サイト <http://nagoja-esperanto.a.la9.jp/>

Facebookページ <https://www.facebook.com/nagoja.esperanto>

郵便振替口座 00840-8-40765 「名古屋エスペラントセンター」



## ◀◀ 目次 ▶▶

La 107a Japana Esperanto-Kongreso (Yamaguti Sin'iti) .....	2
大会参加者の声 (今泉久典、北川郁子、柴山純一、石川智恵子、田平正子 笹沼一弘、木村護郎クリストフ、田淵八州雄、藤田喜久 鈴木恵一朗、山田義、相原美紗子、片山浩子、今井田健二) .....	4
活動日誌・第4期入門講習会 .....	13
名古屋ザメンホフ祭 .....	14
編集後記 .....	14

# La 107a Japana Esperanto-Kongreso

sub malfacila kondiĉo de la kronviroza epidemio

raporto de Yamaguti Sin'iti

La lastjara Japana Esperanto-Kongreso (JEK), nome la 106a, okazis sub tre malfacila situacio, ĉar la giganta tajfuno, kian oni neniam ĝis nun spertis, rekte atakis la tutan Japanion. Ĉi-foje, kvankam feliĉe la vetero estis bona, alia malfacilaĵo kovris ne nur Japanion sed la tutan mondon. Jes, temas pri la kronviroza epidemio.

La 107a JEK havis sian lokon en Nagojo, la urbo kvare la plej granda en Japanio. Tiu ĉi urbo estas historie kaj industrie grava, situante en la meza parto de la lando, kun 2 milionoj da loĝantoj. La kongresejo (*Winc Aichi*, 18-etaĝa moderna konstruaĵo) troviĝas tuj antaŭ la stacidomo de Nagojo, ĉirkaŭate de multaj altaj konstruaĵoj, kaj tie svarmas multaj oficistoj, butikumantoj kaj turistoj. La 107a JEK celis altiri ilian atenton kaj interesiĝon al la ekzisto de Esperanto.

Kiam la epidemio pli kaj pli disvastiĝis, la marta kunsido de Loka Kongresa Komitato (LKK) por la unua fojo konsideris la eblecon de nuligo aŭ prokrasto de JEK. Sed tiam, kiam la situacio ne estis tiel severa, preskaŭ ĉiuj LKK-membroj pensis pli malpli optimisme, kaj LKK decidis daŭrigi preparadon de la kongreso ĝis la lasta horo, ĉar neniu povas antaŭdiri certajon. Poste la situacio pli kaj pli montriĝis severa; evidentiĝis, ke preskaŭ neniu povos viziti Japanion el eksterlandoj. Centra kaj regionaj registaroj admonis, ke loĝantoj restu hejme escepte de nepre necesaj okazoj, kaj laborantoj hejme plenumu sian taskon. Kvankam tio estis nur admono kaj ne estis dekreto, preskaŭ ĉiuj japanoj obeis la admonon.

LKK-kunsidoj mem okazis ne reale sed virtuale, komence per Skajpo (*Skype*) kaj poste per Zomo (*Zoom*). Dume, de majo ĝis julio, ene de LKK daŭris arda diskutado, kaj ĉefe tri opinioj prezentiĝis: (1) nuligo aŭ prokrasto, (2) daŭrigi preparadon cele al ordinara kongreso kun iom malpli granda skalo, (3) reta kongreso. Rezulte, la dua kaj la tria opinioj kunfandiĝis, kaj naskiĝis la nova maniero, kiun neniu Esperanto-Kongreso en la mondo ĝis tiam spertis, nome "hibrida" kongreso. Por tio ni alprenis Zomon kaj Diskordon (*Discord*).

Plene reta aŭ virtuala kongreso estas ne tre malfacila. Sed hibrida kongreso bezonas multajn ekipaĵojn, specialan konon kaj teknikistojn. Ĝi estis des pli komplikega, ĉar la kongresejon ni uzis por la unua fojo kaj ne estis ebleco de

anticipa provo aŭ ekzameno de surlokaj ekipaĵoj. Feliĉe en LKK estis profesoro pri telekomunikada inĝenierarto, kaj li gvidis la aferon, kvankam eĉ li mem ŝvite laboris kaj foje fuŝetis. Hibrida maniero estas malfacila, ankaŭ pro tio ke multaj, ĉefe maljunaj, partoprenantoj ne povas libere manipuli retajn rimedojn. Tial LKK havis plurajn antaŭkursojn por helpi ilin uzi tiajn rimedojn.

Ankoraŭ alia specialaĵo estas menciinda. Feliĉe, dum la kongreso neniu partoprenanto infektiĝis pro la kronviruso. Tio estas dank' al kelkaj kontraŭrimedoj por preventi infektiĝon, kiujn LKK alprenis: limigo de ĉeestantoj en ĉiu ĉambro kaj halo, ĉiutaga ekzameno de temperaturo de venintoj, ĉiuhora malinfekta purigado kaj aerumado, devigo de masko al ĉiuj, uzo de travida ŝildo ĉe la giĉeto, k.t.p.

La tuta partoprenantaro nombras 359, el kiuj 120 estas fizikaj (kiuj reale vizitis la kongresejon), 104 retaj (per Zomo aŭ Diskordo), kaj 84 moralaj. Ceteraj aliĝintoj probable rezignis ne nur fizike viziti, sed ankaŭ rete partopreni. Tiu ĉi nombro estas kompreneble multe malpli granda ol nia komenca supozo, sed estis neeviteble. (Cetere la nombro 359 estas preskaŭ egala al 360, la nombro de aliĝintoj de la 53a JEK, kiun Nagojo invitis lastfoje en la jaro 1966.)

Kvankam aliĝintoj ne estis multaj, la enhavo estis sufiĉe riĉa kaj kontentiga kun ĉ. 40 programeroj. Kelkaj programeroj estis publikaj, ekzemple okarina koncerto, enkonduka kurso, prezentado de Esperanto k.t.p. kaj 18 homoj - ne aliĝintaj - senpage vizitis ilin. Krom publikaj programeroj menciindas interalie la simpozio "por la rilato inter Japanoj kaj Koreoj - Kion Esperanto faris kaj povas fari?", en kiu unu simpoziano el Koreio parolis zome; 6 sesioj de kongresa universitato kun buntaj temoj; 3 retaj prelegoj en Esperanto fare de eksterlandaj gastoj el Indonezio, Hungario, kaj Ĉinio; Reta renkontiĝo kun filipinaj junuloj, k.a.

La kongreson vizitis 3 ĵurnalistoj de 2 tagĵurnaloj kaj 1 televida elsendo. Pri la supre menciita simpozio loka tagĵurnalo raportis en la fina tago de la kongreso kun foto kaj klarigo pri Esperanto. Kaj alia ĵurnalo pri la faka kunsido pri Saito Hidekatsu, kiu estis esperantisto kaj lingvisto arestita du fojojn pro sia kontraŭmilita kaj maldekstrema opini-esprimado antaŭ la dua mondomilito.

Kelkaj programeroj estis nuligitaj aŭ malampleksigitaj, ekzemple bankedo kaj ekskurso. Sed kongresanoj sufiĉe ĝuis la enhavon. La venonta kongreso okazos en Hiroŝimo, la urbo atombombita por la unua fojo en la mondo.

## ☆ 大会参加者の声 ☆

以下に、インターネット上で大会参加者や関係者などからいただいた声を紹介します。いただいた日付順になっています。(山口)

### 今泉久典（オンライン参加者） 9月22日

第107回日本エスぺラント大会成功おめでとうございます。

コロナの影響で準備等に大変なご苦勞があったものと思います。

初めてのオンライン参加併用のおかげで、私も初めてズームを使って参加させていただきました。ズームを使ったのは初めてでしたが、運営準備側の親切なご配慮のおかげでスムーズに参加することができました。

プログラムも非常に内容の充実したものだと思いました。

LKK他大会準備関係者の皆様、多くのヘルパントの皆様、たいへんお世話になりました。

ありがとうございました。

#### (山口より返信)

今泉さんのあたたかい感想をいただき、感謝しています。毀誉褒貶は世の常ですが、すなおにうれしかったです。来年はリアルにお会いできるといいですね。

### 北川郁子（JEI理事長） 9月23日

LKKのみなさま、ヘルパントのみなさま

初めての hibrida kongreso ということで、準備の段階から本日閉会式までまさに不眠不休のご尽力をされたLKKのみなさまに感謝するとともに、まずは無事に終了したことを嬉しく思います。閉会式を見て、LKKのみなさまのチームワークはまさに amo kaj saghoに支えられていたのだなあ、と感じました。吉岡さんはじめ会場には来られなかったLKKのみなさまも、本当にお疲れ様でした！

細かい点では反省点も色々あると思いますが、昨年のように、メモという形ででも残し共有できたら良いと思います。

明日からは通常のお仕事に向かわれる方もいらっしゃると思いますので、どうぞくれぐれもお身体を大切になさってください。

取り急ぎ、御礼まで。

#### (山口より返信)

あたたかいお言葉ありがとうございます。やってみないと分からないこと、つてたくさんありますね。前回、埼玉大会の反省点メモは読んでいましたが、それをちゃんと生かしていたか、というと忸怩たるものがあります。

## 柴山純一（JEI理事） 9月23日

名古屋大会、晴天に恵まれ、実参加してよかったです。

参考に、初日の開会式後の写真（配付されたもの）には80人がいますね。

今回の「ハイブリッド」というのは、名古屋の皆様のチームワークと技術とがなかったらできなかつたとおもいます。今まではホール行事の全国配信さえもできなかったのが、Zoom参加者限定で可能となり、分科会によっては、遠隔参加者からの質疑も行われました。

ところで、Kongresa libro p89の「中止番組」を見つつ感じたのですが、今回中止にならずに実行されたのは、大会大学を含む「講演」類が多かったですね。海外からのzoomも可能となったので。それに対して、多人数が発言したり、討論したりする番組の中止が多かった。

23日午前の「表彰・報告」が最後までどうなるか分からなかったのですが、結果的に「多人数が発言」の番組となってよかつたとおもいます。

## 石川智恵子（JEI理事） 9月23日

私も実参加してよかつたと思っています。やはり、普段会えない方々とお顔をみながらお話しできるのはいいことです。メールやzoomなどでは、話の転がり方や深め方がやはり足りなくなるということを実感しました。

日本大会初の試みであったハイブリッド大会でしたが、LKKのみなさま、ほんとうにお疲れさまでした。ありがとうございます。私が担当した小坂賞受賞者講演では、zoomで参加された受賞者の佐々木さんと会場およびzoom参加者からの質疑応答も問題なく行われました。

ILEI分科会（2枠）も、韓国から本の朗読で参加した数人のグループとzoom参加者および会場での参加者が、十分に意見交換等することができました。

LKKのみなさまだけではなく、ボランティアでサポートして下さったみなさまにもたいへんお世話になりました。今後このような形での日本大会が開催される可能性がまた出てくるかどうかはわかりませんが、ほんとうに画期的な試みで、しかも成功したことがうれしいですね。

## 田平正子（会場参加者） 9月23日

一言だけお詫びさせてください。2人ともせっかくボランティアに登録していながら、殆どお手伝いができず、特に稔は殆ど目が見えず、正子が手をつないでないと人や物にぶつかるので、皆さまに大変迷惑と心配をおかけしました。どうかお許しください。大会の報告書を出される時は、ボランティアのリストから外していただけたら安心です。

山口さんも本職をサボってLKK委員長として皆さんのお世話をされて大変だったので、感謝の気持ちでいっぱいです。

Kongresa Libroは編集が大変だったでしょう。もしも印刷の前に原稿を送っていただいたら、校正すべきところが数か所あったのでお手伝いできたのにと残念です。

とにかく内容豊かで世界大会にも似たものすごい大会でした。自分の参加したい番組が沢山あったけど、ほんの一部しか参加できなかったと残念がるのは、ボランティアとしては失格ですね。

LKKの皆様どうぞよろしく感謝の気持ちをお伝えくださいませ。

(山口より返信)

お詫びなどと、とんでもないことです。むしろ、稔さんの眼の悪化にもかかわらずお二人が現地においでになったこと、恐縮至極です。(これが病状に影響していないことを祈るばかりです)

さて、これ以上の御懸念を拭うため、とりあえず大会ボランティアのリストから、田平さんご夫妻のお名前は消させていただきますが、私の心の中に刻ませていただくと思います。

笹沼一弘 (JEI理事、LKK委員、大会組織部長) 9月24日

みなさまのご尽力のおかげで、大会も無事終了しました。ありがとうございました。

前例のないハイブリッド大会ということもあり、今まで参加した大会の中では、LKKのみなさんが、一番忙しそうにしていたように感じました。本当にお疲れ様でした。

ところで、サロンには、ROの表紙も飾った米川五郎先生の素晴らしい作品が展示されていました。実は米川先生は私の高校の大先輩で、何年も前にOB会で一度お会いしたことがあります。そのとき、エスペラントをされているということを知ってびっくりしました。ご本人は覚えていらっしゃるかもしれませんが、どなたかお会いする機会があれば、よろしくお伝えください。

(山口より返信)

そうだったんですね。そういえば「センター通信」で米川先生の経歴に旧制水戸中学とありました。<http://nagoya-esperanto.a.la9.jp/info/280.pdf>

Facebookで連絡されてはいかがでしょう？

## 木村護郎クリストフ（大会大学講師） 9月23日

日本大会、参加できてよかったです。

今回の大会ができた背景には、地元の方々の並々ならぬご尽力があったとおもいます。

謝礼は、お気持ちだけうけとって、金額は名古屋エスペラントセンターへの寄付にさせていただきますとおもいます。

（山口より返信）

名古屋エスペラントセンターへの寄付金、ありがたく頂戴します。

## 田淵八州雄（大会大学講師） 9月25日

無事にそして初めてのHIBRIDA大会を成功裏に終わらせて頂いて誠にご苦労さまでした。有難うございました。

初めての企画・経験で準備・運営が大変であっただろうかと推察しています。

用事で閉会式前には帰宅のため失礼しましたが、FACEBOOK で閉会式の様子が変わり満足感に浸っておられるL K Kの皆さんの表情がわかりました。

私も大会大学で発表の機会を与えていただき、これまでのエス語指導のまとめが出来て満足しています。

これから反省会・後片付けご苦労様です。L K Kの皆様に宜しく感謝の気持ちをお伝えくださいますよう、宜しくお願い致します。

（山口より返信）

ご丁寧なおたよりありがとうございます。

田淵さんには、ずいぶん早くから大会大学講義の準備をしてくださり、助かりました。講義を拝聴することはできませんでしたが、パワポ資料がありますので、また見させていただきます。

## 藤田喜久（オンライン参加者、在ロンドン） 9月25日

2,3質問や感想を述べさせて戴きます。

①internetによるZoomやDiscordでの参加でしたが、開催地の名古屋の方々が親切に事前に3回も練習会を開いて下さった事に感謝しています。どうも有り難うございました。Zoomは経験がありましたから、問題はなかったのですが、初めてのDiscordは練習会では上手く行ったので、当日も何とか自分で操作出来ると思っていました。ところが当日の本番では上手く行かず、特に画面は出るのですが、音声は全く聞こえなかったり、聞こえてもザーと言う雑音の為に良く話が聞き取れませんでした。音声は聞こえない点は自分の操作missだった事が最終的に判りましたが、雑音

は電波の状態でしょうから何とも致し方ないかと思います。改善の余地はあるのでしょうか？

②ZoomとDiscordを比べた場合は経験があるからかも知れませんが、Zoomでは画像、音声共に鮮明で何も問題はありませんでした。只、会場のSlideの画面はPCの画面全面にして戴かないと、字が小さくて読めませんでした。でもそれには各会場にZoomなりDiscord専門の人を一人配置する必要があるでしょうから、実際には非常に困難な問題だとは理解出来ますが、当日会場に行けない人の為のinternetですから、何か技術的に将来の課題として考えて戴きたいと思っています。

③今回は初めてのinternet中継でしたが、会場者と同じ様に質問は出来ないのでしょうか？今回は座長が慣れないせいもありましたが、internetでも質問の声や会場との会話は出来るはずですが、勿論いつも当方のマイクはミュウトにしてありますが・・・

当然座長の許可の下の質問ですが、ある分科会で何回か質問の為に声がけをしましたが、全く無視されてガッカリしました。質問はinternet参加者は出来ないのでしょうか？internet参加者は只、話を聞くだけですか？

④今回の大会で一番良かった一つに大会初日の18:00～18:45〔D18〕の清水美穂さんの「ボスニア紛争と『ことば』」でした。只、彼女から当日会場で「今日は質問は一斉受けない」とおっしゃられましたので、彼女のEmail Addressを教えて戴けるのでしょうか？一度彼女に聞いて下さいますか？私のEmail Addressは彼女に教えても構いません。

⑤今回のPhilippine青年の様に今後も世界の特に若いEsperantistojとの接触をされる様に望みます。

以上思い向くままに質問と感想を述べました。益々Esperanto語が世界に普及する事を願っています。

## 鈴木恵一朗（JEI理事） 9月26日

先日の日本大会、本当にお疲れ様でした。

コロナ禍のなか、昨年の大会を思い出し台風の襲来も心配していたのですが、幸いにも好天に恵まれ、100人を超える実参加者もあり、大変充実したよい日本大会となったと思っています。私も実参加者の1人として、実行委の皆さんの大奮闘を目の当たりにしつつ、大会を楽しむことができました。ありがとうございました。

本年の4、5月には、全国の色々な分野の今夏までのほとんどすべての行事が中止、延期あるいはオンライン開催となる中、その時点でのJEIの理事長として、日本大会の9月の実開催を行うべきか否かにつき、色々思いめぐらしました。JEIの理事会として日本大会を中止すべきとの方向で動くことも十分考えられ、仮にそうしたとしても客観的にみて仕方がないと受けとめられたと思われれます。しかし、私としては

4、5か月後の9月の状況がどうなっているかは全くわからず、今までの日本大会の長い歴史において、困難な状況下、少人数でもなんらかの形で大会を実施してきていることを考えると、簡単に実開催をあきらめたくはないと思っていました。そして日本大会の最終責任を負うJEI理事会として、開催可否・方法につき今大会の準備を精力的に進めている名古屋の実行委員会の意向を尊重していくこととし、実行委員会をバックアップしていこうということとなりました。

今回、実際の大会とオンラインの並行開催を無事成功裏に実施できたのは、実行委の皆さんの大変な熱意とポテンシャルの高さと尽力の賜物と思います。来年以降の大会にもこの経験が生かされていくことを望みます。

### 山田義（LKK委員） 9月28日

名古屋エスぺラントセンターが名古屋で第107回日本エスぺラント大会を引き受けたのが開催1年余り前でした。そのシンボルマークと申しますか、エンブレムは大会開催のちょうど1年前に出来上がり、La Unua Informilo で間に合い公表されました。

「大会を名古屋で」が決まったとき、はじめにことばが私の頭に浮かびました。“La Ora Delfeno movadas”というのです。大会のエンブレムを作るなら、遠くから見上げる名古屋城の鯨ではなく La Ora Delfeno をテーマにしたいと決めていました。



これは、創立70年をすぎて解散した名古屋エスぺラント会がその機関紙のタイトルに使っていたものです。“La Ora Delfeno”というと、私が思い出すのは、丹羽正久さん、竹中治助さん、山田天風さんたち名古屋とその周りの人たちや、名古屋に

駐在し、また去って行ったエスペランチストたちです。竹中治助さんは名古屋エスペラント会50年史年表で、1932年創立時には Bulteno de NEC を発行し、2年後1932年にこれをLa Ora Delfeno と改めたということです。そしてその後、故後藤正治さんも山田義も、受け継いで La Ora Delfeno をワープロで発行していた時代もありました。エスペラントで言う delfeno は、魚と虎の想像上の動物を的確に表現していません。昔のエスペランチストが「シャチ」「シャチホコ」をどうエスペラントで言おうかと苦心したようです。

今回の大会のシンボルマークを私に作図を任されるなら、先輩たちが愛した La Ora Delfeno を題材にしたいと考えました。これを図面を構想するとき適当にそれらしい画像を中心に大会名や日程を添え、緑の星を貼り付けるだけの絵柄は浮かびませんでした。出来上がったエンブレムでは、正五角形の緑の★は斜体にしました。動物が緑の星を口にくわえています。名古屋とエスペラントの運動の一体感、先輩エスペランチストから80年余になるこの地方の運動の継承を表現したかったからです。多くの先輩たちが大切にしてきた名古屋のエスペラント運動を今、私たちが引き継ぎます。La Ora Delfeno movadas です。

委員会で参考意見をもらいながら作図したものが承認されました。1年前の106回大会に間に合わせ配布しようとシールを作りました。費用は、「竹崎睦子基金」の援助をいただき、出来たのはハガキ大のシール300枚でした。その後大会記念品として参加者に配布しました。マークを8枚並べただけでは趣がありませんし、運動は男性だけという表現が強くなってしまいそうです。名古屋城の屋根には雌雄のシャチがあるということですので、もう1枚を加えました。バックの色をピンクにただけではありません、目は大きく、目じわがありません、運動に女性がもっと加わってほしいという日頃からの願いからです。

埼玉の106回大会ではこのシールを配って、閉会式ではしっかりと名古屋大会を印象づけたいと願っていましたが、きれいに印刷されたこのシールを持って行くつもりでしたが大会直前のひどい台風の影響で行きそびれてしまい、名古屋から行く他の人に託すこともできませんでした。埼玉の大会での配布はできませんでしたが、その後急いでJEIに送っておきました、適宜配布していただけることになっています。

名古屋エスペラントセンターが大会記念品として発行した注目の『歴史・文学・エスペラント』の仕事を手伝うことができました。著者の伊藤俊彦さんが過去に投稿した雑誌から文字起こしの仕事をする者を探していたので、申し出てスキヤニングとテキスト化を手伝いました。そのまま版下作りや索引の構築までに及びました。プロの書籍デザイナーが仕上げた表紙やカバーや目次、トビラ、奥付を取り込んで、印刷製本業者に原稿として持ち込み、伊藤さん夫妻共々見積もりや発注に合わせて業者の事務所に通いました。正誤表を挟まない仕上がりが目標の一つでしたから、最後まで緊張しました。

開会式、閉会式の司会者の相談にも乗りました。開会式の司会担当の今井田健二さんは今回が初めてのエスペラント大会ということです、前もって手を加えた原稿を見てもらい、30分ほどでしたが skype で発声などを聞き、その力強い男声、きれいなエスペラントの発音、歌唱力を確認し安心しました。実際には私の到着が開会式に間に合わず途中からでしたがいい司会で大会が始まりました。閉会式は伊藤順子さんの担当です、会場全体を包み込むような雰囲気でした、自己紹介で今日がちょうど誕生日だということで、何かサプライズを式が全部終わった時を見計らってやろうということになり、Bondeziron al vi の歌を舞台のスクリーンに映し出して会場が歌いました。ついでにちょうど明日が誕生日である山田寛人さんも、来年広島で開く日本大会に関わっているの、前に出てくると山口さんから二人にプレゼントが渡されました。

開会式には La Espero、閉会式には La Tagiĝo を歌いますが今年会場にピアノがありません。ネット上で式典に使えるものを LKK が探しましたがしっくり行くものはありません。するとメーリングリストを読んでいた JEI 事務局長の相川拓也さんが自らピアノ伴奏をして動画を提供してくれました。会場は大会冊子に載った歌詞付き楽譜を見ながら歌う人が多いのですが、その楽譜通りにピアノの前奏、間奏、後奏が丁寧に収まった演奏が会場のスクリーンに映し出されとても良かったです。今後はこの動画にエスペラントの歌詞を載せたものを、日本大会常置委員会が作り大会ごとに提供できれば最高でしょう。

## 相原美紗子（Zoomボランティア） 9月29日

今回の大会では、オンライン参加でZoom担当のお手伝いをしたので、分科会そのほかをみることはできませんでした。今回は大会大学すべてに参加しました。オンライン参加では、会場にいる時よりも内容に集中できました。大会大学の内容は理科系が多く、文系の講義もきけたらよかったです。日韓シンポは間宮さんの率直な意見もあって、一歩問題に踏み込んだアプローチになったと思います。ぜひ内容の再録を読みたいです。このテーマは常に論じられてしかるべきものだと思います。報告、表彰会はとても良い企画だと思います。日本でのエスペラント運動がどう支えられているのかが、参加者に伝えられ共感を呼ぶ番組で、継承されてほしいと思いました。

### （山口より返信）

おたよりありがとうございました。日韓シンポと大会大学は、今大会の核と位置づけていました。日韓シンポは事前のメーリングリストでの意見交換が効を奏したと思っています。大会大学、理科系が多いと思われたのですね。国際関係論や歴史哲学の講義もあり、私としてはバランスがとれた内容だったと思います。

## 片山浩子（LKK委員） 9月30日

コロナ禍ゆえの難しさがありましたが、ピンチをチャンスと捉えてチャレンジしたことで、良い結果につながったと思います。

大会初心者の私には全てが目新しく、一緒に作っていく過程も楽しかったです。その中で、NECのみなさんがこれまで続けてこられた地道な活動を、改めて認識しました。大会で多くの人に知ってもらうことができ良かったと思います。

私は「無料公開番組」のチラシを作成させていただき、それを見て来場した人が数人いたので、少しはお役に立てたのかなと嬉しかったです。

Zoom練習会の中でお話した方々、会場で初めてお会いした方々、みなさまとお目にかかれる日がまたいつか来ますよう、楽しみにしています。

## 今井田健二（ボランティア） 10月8日

Mi ĝuis mian unuafojan kongreson kaj kiel helpanto kaj kiel partoprenanto. Kiel helpanto, mi gvidis antaŭkongresan ekskruson al la Kastelo de Nagojo (名古屋城). Kvankam estis sola partoprenanto, ni havis ĝojan tempon tie. Precipe la beleco kaj lukseco de la Palaco (本丸御殿) ravis nin. Krome, mi prezidis la inaŭguron. Tiu granda laboro nervozigis min, sed post la ceremonio mi estis tre feliĉa, ke multaj afable alparolis min.

Kiel partoprenanto, mi ĝuis ne nur programerojn, sed ankaŭ etoson de la kongresejo mem. Tie multaj parolis laŭeble Esperante kaj mi rimarkis, ke mi estas en "Esperantio". Ĉiu sperto en la kongreso estas vere "nova sento" por mi. Nun mi ĝoje atendas la venontan. Ĝis Hiroŝimo!



開会式の様子

---

## 活動日誌（7月から9月）

---

- 7/8（水）19時から20時半 センター委員会  
7/10（金）17時半から19時半 中級講習会  
7/31（金）17時半から19時半 中級講習会  
8/2（日）13時から17時 第107回日本エスペラント大会実行委員会会議\*  
8/6（木）19時から20時半 センター委員会  
8/23（日）14時から18時 第107回日本エスペラント大会実行委員会会議\*  
9/3（木）19時から20時半 センター委員会  
9/7（月）13時から19時 販売図書整理作業  
9/19（土）15時から18時 販売図書荷造り作業  
9/22（火）15時から17時 日本大会後見学受け入れ  
（\*印は完全オンラインによる）

---

## 第4期入門講習会

---

第1回（9/29）と第2回（10/15）は終了しました。第3回以後の日時は未定。途中からの受講も可。

場所 教心寺（名古屋市天白区土原3-205）

費用 500円/時間（教材費別）

教材 ドリル式エスペラント入門

講師 山口真一

### LIBRO DE MARKUS GABOR

En Israelo aperis libere uzebla esperantlingva interreta biblioteko, kie esperantlingvaj verkoj senpage legeblas. Dum Julio la plej ofte legata libro estis “**KOREIO, LA KONGRESLANDO**”, kies aŭtoro estas MARKUS Gabor, hungardevena membro de nia Nagoja Esperanto-Centro. La listo de la cent plej ofte legataj verkoj troveblas en  
[http://verkoj.com/php/plej\\_legataj.php](http://verkoj.com/php/plej_legataj.php)

# 名古屋ザメンホフ祭

兼『歴史 文学 エスペラント』出版記念パーティ

日時：12月20日（日）16時から19時

場所：リリーバンケット

名古屋市中区錦2-13-25（1階にラーメン屋さんが入っているビルの階上）

会費：5000円（コース料理＋飲み放題、乾杯用シャンパン付）

予約先：山口眞一<syam-z@wa2.so-net.ne.jp>または電話（052-807-1198）へ  
（12月15日までに要予約。予約なしの参加はできません）

※貸切パーティとして予約をしています。今回は、講演などはなく、みなでゆっくりと歓談できるようにします。来年の抱負を語り合ったり、日本大会で撮影された写真や動画を見たりしましょう（プロジェクタとモニタの設備があります）。

※ソーシャルディスタンスに配慮し、40人がすわれる部屋を貸切。参加者は20人までとしますので、それを超えた場合はお申し込みをお受けできない可能性があります。



## ▶編集後記

○今号は「日本大会特集」として編集しました。大会は終了したとはいえ、報告書を書いたりせねばならず、残務整理がまだ続きます。○巻頭のエスペラント文による報告は、世界エスペラント協会の機関誌“esperanto”に送ったものと同じ内容です。○今年最後のイベントとなるであろう「名古屋ザメンホフ祭」に、どうかご参加下さい。（山口）

## センターの会員（維持員）募集中

A:月500円 / B:月1,000円 / C:月2,000円 / D:月3,000円

ランクによる会員資格に差はありません。ランク別及び振込月数を明記して郵便振込（口座番号は表紙タイトル下）へお願いします。メールアドレスがあれば、それもあわせてご記入ください。